

東京都正札シール印刷協同組合

第3回 理事会 議事録

1. 招集年月日 平成27年6月17日（水）
2. 開催日時 平成27年6月24日（水）18時～19時
3. 開催場所 東京都台東区北上野2-25-4
東京シール印刷会館 3階「会議室」
4. 理事総数 15名
5. 出席理事数 15名
6. 出席理事の氏名 市園幸裕、今村めぐみ、小林淳史、宍戸伊助、新保段一郎、鈴木健二、田中浩一、田中幸晴、田中祐、馬橋孝悦、三川伊三郎、森屋則彦、湯澤清巳、吉田雄三、吉野雅宏、
7. 出席監事の氏名 出席監事はなし
8. 議長の氏名 田中浩一
9. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
10. 議事録作成に係る職務を行った理事の氏名
湯澤清巳
11. 議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決の別及び賛否の議決件数並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）
定刻、開会、田中理事長挨拶（別項参照）、同理事長を議長に議案の審議に入り、いずれの議案も可決・承認された。

議題1「委員会事業」の件

議長の指名を受け、3委員会委員長が本年度の事業概要等について説明があり、いずれも承認された。主な内容は以下のとおり。

「マイナンバー制度」に関する勉強会開催。当初、7月中にも実施する予定であったが、10月の個人番号通知前後の開催とする（技術・教育委員会＝田中幸晴委員長）

「ビジネスマッチング大会」の継続開催。若手経営者対象のセミナー。
「委員会メーリングリスト」の構築（経営＝田中祐委員長）

「観劇会」「納涼船企画」「茶道教室」「支部対抗ボウリング大会」を

実施する。また、本組合担当予定の「第59回年次大会」（2017年）の会場候補を本年10月頃までに絞り、2016年秋までに最終決定とする（総務・厚生＝馬橋孝悦委員長）本件に関して旅行代理店との打ち合わせを7月10日（金）に行う。

なお、昨年度は協賛会会員企業（担当者）から各委員会に対して、委員を2名派遣されたが、本年度も要請する（依頼文書を協賛会に発信する）

議題2「支部活動」の件

議長の指名を受け、各支部長が本年度の支部会予定・内容などを説明、承認された。昨年度、協賛会の協力を得て、支部会での勉強会を開催したが、本年度も同様に協力を得ていくとともに、支部会開催案内を協賛会へも通知する（支部会内容によっては協賛会を招集しない場合もあり）
本年10月の「年次大会・大阪大会」への参加費補助に関して、3支部長が協議した結果、「支部員1社1名に限り1万5000円を補助する」との報告があり承認された。支給方法等については未定。

報告ほか

- 以下、事務局から説明・報告があり、いずれも了承された。
- ・日印産連「印刷振興賞」候補者として、田中幸晴副理事長を推薦する。
 - ・委員会交通費は、一律1000円とする（4月から支給）
 - ・元四国協組組合員から、組合加入に関する問い合わせがあったため、事務局から申請書類等を送付。（次回、理事会開催以前に）正式に加入申請があった場合は、その可否を理事長に一任する。
 - ・総会後の組合員・会友、協賛会の異動について報告があった。
 - ・次回、理事会開催予定日 8月26日（水）18時。組合会館3階。

以上をもって議案すべての審議を終了、三川専務理事の閉会挨拶にて理事会を終了した。

ご参照

理事長挨拶（要旨）

本日は、総会で新たに選出されました理事による実質第1回目の理事会となります。ここにいる皆様方のお力をお借りして1期2年、組合を盛り上げて参りたいと思います。あらためてご協力をお願い申し上げます。

さて、業界の景況であります。この5月は相当悪かったです。紙

屋さんによりますと、今までにないほど落ち込んだ、ということをお聞きしております。皆様方のところはいかがだったでしょうか。このような中で、組合活動をしながら、お互いの商売を引き立てていくようにしていかなければなりません。

組合脱退社が増えておりますが、脱退傾向に歯止めをかけ、なおかつ以前に脱退された方々が戻りたくなるような組合になるように考えております。我々は、当然ですが同じような仕事をしております。色出しや刃型のムラ取りなど、協力し合うことができないものでしょうか。また、印刷機は使うだけでなく、使いこなす必要がございます。このような点も組合員間で情報交換できないものでしょうか。また、複合材料に対する印刷方法などは、我々がすべて探究しているわけではございませんが、今は使われなくなった過去の優れた技術に焦点を当てることも良いのではないのでしょうか。さらに、インキや版材、版の保管方法、ツボの洗い方など、それぞれ各組合員においてポイントがあるようです。そうした課題と言いますか問題を組合（理事会）に出ることで解決する、勉強・参考となった、と感じられる組合活動をしていきたいと考えております。

以上のような活動を通して、2年後には組合数200社をめざして、頑張っ
て参りたい。本理事会並びに組合活動、委員会及び支部会へのご理解と絶大な
るご協力をお願い申し上げます。

（文責・事務局）